

令和5年度 第2回 教科用図書採択海部地区協議会 議事録

開会日時 令和5年7月18日(火) 午後1時00分

閉会日時 令和5年7月18日(火) 午後5時00分

場 所 愛西市役所 北館3階 災害体躯本部兼会議室

○ 出席委員

学識経験者

海部地区小中学校PTA連絡協議会会長

海部地区小中学校PTA連絡協議会家庭教育委員

津島市PTA連合会会長

津島市PTA連合会副会長

津島市教育委員会教育長

愛西市教育委員会教育長

弥富市教育委員会教育長

あま市教育委員会教育長

大治町教育委員会教育長

蟹江町教育委員会教育長

飛島村教育委員会教育長

海部地区小中学校長会会長

海部地区小中学校長会副会長

海部地区小中学校長会副会長

海部地区小中学校長会現職教育委員長

海部地区小中学校教頭会会長

教員代表

吉川 昭義

中村 伸二

宮地 有希

篠田 真史

城 道子

浅井 厚視

平尾 理

高山 典彦

伊藤 克仁

平野香代子

服部 英生

萩野登記代

小川 俊二

伊藤 武司

前田 健治

谷川 知

山崎洋一郎

村瀬 泰広

○ 欠席委員

津島市学校保健会会長

海部学校保健会会長

教員代表

平井 雅也

前田 豊

各務 修平

○ 事務局

海部教育事務所主席指導主事

愛西市教育委員会教育部次長

愛西市教育委員会学校教育課主幹

中野 健

小島 洋志

吉田 光男

1 開会のことば

2 会長あいさつ

3 経緯および選定事務説明

(1) 教科用図書研究会を数回開催し、調査・研究を実施。

(2) 選定方法について

4 研究報告並びに質疑応答、選定協議

5 閉会のことば

(事務局員)

皆様におかれましては、何かとご多用の折、定刻までにお集まりいただきましてありがとうございます。本日の進行を務めさせていただきます教科用図書採択海部地区協議会事務局の小島洋志と申します。よろしくお願ひいたします。皆様のお手元にある協議会要項1ページの次第にそって、会を進めさせていただきます。

なお、本日は1番の津島市学校保健会会長の平井様、2番の海部学校保健会会長の前田様、15番の海部地区小中学校長会会長の小川様、21番の教員代表の各務様が都合によりご欠席されると承っております。

1 開会のことば

(事務局員)

ただ今から、令和5年度第2回教科用図書採択海部地区協議会を始めさせていただきます。なお、配付させていただいた文書につきましては、秘密保持のため、閉会后回収させていただきます。ご協力よろしくお願ひいたします。

2 会長あいさつ

(事務局員)

平尾会長があいさつを申し上げます。

(会長)

皆様、こんにちは。今日も大変暑く、熱中症が心配される日となりました。また、コロナの方も第9波に入ったとも言われており、地区内でも学級閉鎖を実施している学校があると聞いておりますので、マスクをしながら進めさせていただきます。

さて、今日は小学校の教科書13種について選定をお願いいたします。そして、海部地区内の7市町村で同じ教科書を使用していくことになります。よりよいものを選定できるよう、皆様から真摯なご意見をいただきながら会を進めていきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

3 経過および選定事務説明

(事務局員)

経過および選定事務について、事務局より説明をさせていただきます。

5月8日に第1回の協議会を開催し、委員の皆様を委嘱し、小学校13種の研究員64名の承認をいただきました。その後、県より「愛知県令和6年度使用義務教育諸学校教科用図書採択基準」が示され、「選定資料」が送付されてきました。採択基準と選定資料に関しては、「追加資料」としてお配りさせていただきました。

6月6日に第1回教科用図書研究会を行い、採択基準や選定資料等にもとづく公平・公正な調査研究を依頼しました。6月30日までに2回の研究会を開催し、本日、その報告をしていただきます。

調査研究と並行して、6月2日から6月29日まで津島市立図書館において、教科書展示会を開催し、のべ約80名の方々に令和6年度使用小学校教科用図書および令和5年度使用中学校教科用図書を見てもらう機会を設けました。アンケート用紙62枚のご意見が寄せられました。お手元にありますようなアンケートがありました。多くのご意見をいただきましたが、同じ方が何枚もアンケートをご記入いただき、これが即、多くの方の意見とは捉えられないということを感じました。

選定方法と選定後の予定について、ご説明いたします。

協議会要項の6ページをご覧ください。小学校13種、各種目の検定を通った教科書一覧となっております。5ページをご覧ください。各種目につき7分程度、調査研究報告をしていただきます。そして、質疑応答を5分程度とります。事前に、いろいろな教科書もご覧いただいておりますが、前に教科書をご用意しましたので、ご覧いただきながらご審議ください。研究部の意向以外の教科書についても、ご意見がありましたらお願ひいたします。質疑応答後、研究員には退席をしてもらいます。そのあと、すぐに選定協議に移ります。これを13種行います。なお、⑥理科まで済んだところで休憩を15分挟みたいと思ひます。

本協議会の選定結果を明日、各市町村教育委員会に通知させていただきます。その後、各市町村教育委員会にて採択された結果を8月10日までに、本協議会にご報告ください。その後、8月15日までに海部教育事務所、8月22日までに県へ報告するという流れになっております。そして、9月1日より採択結果公開となっております。本日の協議会で知り得た内容は、口外なされませんよう、よろしくお願いいたします。

選定にあたっての基本的なことからについて確認をさせていただきます。お手元の追加資料をご覧ください。1ページの採択基準の「基本的な方針」の5、採択地区協議会は、協議により、採択地区内で使用すべき教科書を種目ごとに1種選定すること。6、採択地区内の市町村教育委員会は採択地区協議会の協議の結果に基づいて、種目ごとに同一の教科書を採択すること。7、選定及び採択にあたっては、県教育委員会の作成する採択基準、教科書選定資料その他の指導、助言又は援助に関する事項を尊重すること。とあります。以上のことを、ご留意いただいて、選定をお願いします。

4 選定協議

(事務局員)

それでは選定協議に移ります。

ここからの取り回しを、会長をお願いします。

国語

(会長)

それでは、「国語」から始めます。

事務局は、国語の研究員を中に入れてください。

<国語 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては光村図書が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

子どもの思いを学びにいかすために、研究会が推薦する出版社は、どのような工夫がされていますか。

(研究員)

「問い」は学びの原動力という考えを明確にし、子どもたち一人一人が「問い」をもつことができるように構成が工夫されています。学びの流れと「問い」をもつこととの関係が分かりやすく示されています。具体的には、各領域である「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」「言葉」の学習の冒頭に、「問いをもとう」というコーナーが設けられています。

また、ここでの「問いをもとう」は育成したい資質・能力を押さえるとともに、教材、言語活動、課題などを前にしたとき、子どもたちが自ら学びを進めるイメージをもてるような「問い」の例としても扱われています。学びの原動力としての問いをもつことへの自覚を促す仕掛けとして、柔軟に扱われるように配慮されています。

これらにより、自ら問いをもち、学びを進めるなかで、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指すような工夫がされています。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

理解を深め、表現を豊かにするために、研究会が推薦する出版社の優れた点を教えてください。

(研究員)

理解を深め、表現を豊かにするためには、語彙力が必要です。児童が、多くの言葉を獲得できるよう、学習や日常生活でも役立つ言葉がわかりやすく3つに分類・整理して掲載されています。

一つ目は、伝えたいことに合う言葉を増やす「言葉の宝箱」。二つ目は、自分の考えが伝わりやすくなる「言い回し」を整理した「伝え合うための言葉」。三つ目は、学習者が授業中に使用する「学習に用いる言葉」です。学習者である児童や、指導者である教員にも、とてもわかりやすく、活用しやすいように、発達段階に応じて巻末に整頓されています。以上の点が優れているところです。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。
ないようですので、研究員のお二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、国語の協議に入ります。研究部の意向は「光村図書」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、国語は「光村図書」を選定します。

書 写

(会長)

次にうつります。
事務局は、書写の研究員を中に入れてください。

<書写 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては光村図書が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

学習指導要領では、運筆する能力につながるよう、低学年での水書用筆を使用した運筆指導が推奨されていますが、各教科書では、どのように取り上げられていますか。

(研究員)

東京書籍では、水書用筆を使って書いてみようという箇所が1年生、2年生どちらも1箇所ずつありました。様々な線を楽しく書いてみるのがめあてとなっています。無地の水書用紙が、教科書に綴じ込まれています。二次元コードからは、水書用筆の扱い方と「おれ」や「はね」の書き方を動画で見ることができます。

教育出版では、「すいしょようして がくしゅうするとよいところ」を示すマークが、1年生では7箇所、2年生では3箇所付けられていました。様々な線をなぞったり、書いたりすることができるような仕様の水書用紙が教科書に綴じ込まれています。同じ頁の二次元コードを読み取ると、その時間に学習する教材文字を水書用筆で書く様子を動画で見ることができます。

光村図書では、『みずふでのひみつ』と題するコーナーが、1年生で3箇所、2年生で5箇所ありました。硬筆での「とめ」と「はらい」の書き分けにつなげる等、学習指導要領で推奨されている水書用筆を使用した運筆指導に沿った位置付けとなっています。二次元コードを読み取ると、水書用筆を使った教材文字の書き方を動画で見ることができます。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

研究会が推薦する教科書には、一人一台端末はどのように位置付けられていますか。また、その活用方法を示すあたり、どのような工夫が成されていますか。

(研究員)

光村図書の教科書では、二次元コードを読み取るとどのような動画を見ることができるのかが分かりやすく示されており、指導者と学習者それぞれが、ねらいやめあての達成に向けて、動画を選び、効果的に利用することができるよう工夫されています。

また、3者のうち、最もコンテンツの数が多く、種類も豊富です。一つの二次元コードが一つのコンテンツに直結しており、動画を選ぶ必要がなく、迷わずに見ることができます。アニメーションや音楽が使われており、動画も魅力あるものでした。

さらに、光村図書では、児童が書いた文字や、児童が書く様子を端末に記録して、振り返りに活用するという端末活用の位置付けがされており、そのために、動画視聴や撮影時のよい姿勢が写真で示されています。児童の健康面への影響を抑えるための配慮が見て取れます。光村図書の教科書を使用することにより、書写の時間でのICT活用は一層進むと考えます。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

ないようですので、研究員のお二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、書写の協議に入ります。研究部の意向は「光村図書」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、書写は「光村図書」を選定します。

社 会

(会長)

次にうつります。

事務局は、社会の研究員を中に入れてください。

<社会 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては日本文教出版が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

ICTの活用について、日本文教出版ではどのような活用が考えられるか教えてください。

(研究員)

東京書籍、教育出版、日本文教出版、いずれも教科書に二次元コードが掲載されています。いずれも授業中に児童が二次元コードを読み取って学びを深めたり、授業者が資料を提示したりすることができる工夫がされていました。

日本文教出版の特徴は、二次元コードによって8種類（アプリ、動画、ワークシート、

シミュレーション、スライドショー、画像、外部リンク、関連資料)のコンテンツが用意されている点です。例えば、小学6年「戦国の世の統一」では「長篠合戦図屏風」をタップすると、複数の関連する動画が見られるようになっていたり、「信長の勢力の広がり」と地方の大名」では、資料が時系列で表示できたりと学習を深める工夫がされています。また、小学5年「米作りのさかんな地域」では米の生産量や作付面積について複数の資料が比較できたり、生産量の多い都道府県を表示できたりと、学習の流れに合わせて、資料を読み取ることができます。

他にも「見方・考え方コーナー」や「学習のまとめ」ではWordとgoogleドキュメントの2種類のテンプレートが用意されています。そのため、授業者がワークシートを印刷して使用するという従来の方法はもちろんですが、例えば、児童が家庭にICT機器を持ち帰って、ワークシートを入力するといった家庭学習での活用方法が考えられます。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

現代的な諸課題について、日本文教出版ではどのように扱われているか教えてください。

(研究員)

東京書籍、教育出版、日本文教出版、いずれも現代的な諸課題について扱っており、SDGsと関連する記述が多く記載されていました。

日本文教出版の特徴は、“考えよう！SDGs”のコーナーが設けられ、3年～6年の4年間でSDGsの17の目標すべてを扱っている点です。発達段階に応じて系統的に配置されているため、学習内容と結び付けて無理なくSDGsについて学びを深められるような工夫がされています。また、“考えよう！SDGs”の二次元コードからは目標や事例をより深く捉えることができるワークシートにつながっていたり、SDGs目標シールでは話し合いで考えが変わったときなどに、貼り替えたりできる工夫がされています。

他にも、4年生「自然災害から人々を守る活動」では「風水害」「地震」「津波」などが扱われており、「未来につなげる～わたしたちのSDGs～」では、「水害にそなえて自分たちができることを考えよう」というテーマで、地域のハザードマップについて学びます。海部地区の子どもが学習する上で、地域の課題に対応した事例が取り上げられていると考えます。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

ないので、研究員のお二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、社会の協議に入ります。研究部の意向は「日本文教出版」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、社会は「日本文教出版」を選定します。

地 図

(会長)

次にうつります。

事務局は、地図の研究員を中に入れてください。

<地図 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては帝国書院が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

東京書籍、帝国書院ともに、「愛知県の文化や産業について、郷土の魅力を学ぶことができるようになっていく」「デジタルコンテンツの充実や工夫されている」との調査研究の報告があるが、帝国書院を推薦する理由を挙げるならば、具体的にどんなところか。

(研究員)

日本の各地方のページを見ていくと、帝国書院の地図の方が分野ごとに拡大されていて、見やすくなっています。例えば、東京書籍の中部地方では、中部地方の全体図で1ページ、北陸で1ページ、東海と中央高地で1ページだが、帝国書院は中部地方の全体図で1ページ、中部地方南部で1ページ、「自動車産業のさかんな愛知県」としての主題図が別ページに大きく1ページ分詳細に記載されており、5年生の教科書の内容に即した見やすさがありました。また、江戸時代の結びつきとして五街道のページがあり、6年生の歴史の内容にも興味関心がつながるような工夫も見られました。

さらに、デジタルコンテンツにおいては、47都道府県について「県のようす」「地形」「土地利用」「市町村」「交通」「農林水産物」「工業」「伝統文化・先人」を主題ごとに見やすいデジタル資料があり、子どもたちに視覚的にわかりやすく提示できるものになっています。また、コンテンツの索引も東京書籍よりも系統的にまとめられており、使いやすい形となっていました。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

採択を進めている帝国書院の地図帳では、持続可能な社会の実現に向けた、「SDGs」についてどのように触れられているか。

(研究員)

日本と世界の食料問題の説明で「SDGs」のマークを記載することで、関連付けています。また、食品ロスについても取り上げられ、その他にも、発電や防災の説明でもマークが表示されています。また「世界のSDGs」のコーナーを設け、ドイツでは、パラスポーツが盛んであることを紹介するなど、様々な国でのSDGsを取り上げています。P125、126では、見開き1ページで説明がされており、世界の様々な諸問題が分かるように構成されています。

このように、「SDGs」の観点が具体的に随所に記載されており、防災意識を向上させるための資料が充実し、より多面的・多角的な学習が可能であると考えられます。

持続可能な社会の実現に向けて、防災意識向上やSDGsの視点を盛り込んだ学習ができるような工夫やまとめ方がされており、命を大切に作る心、他人を思いやる心、人権を尊重する心等を育むことができる地図帳活用が期待できる編集となっていました。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

北方領土や竹島などの取扱いについて、二社に大きな違いはありますか。

(研究員)

取扱いについてそれほど大きな差はありません。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

ないようですので、研究員のお二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、地図の協議に入ります。研究部の意向は「帝国書院」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、地図は「帝国書院」を選定します。

算 数

(会長)

次にうつります。

事務局は、算数の研究員を中に入れてください。

<算数 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては啓林館が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

タブレット端末が1人1台導入されて初めての教科書改訂となります。タブレット端末を効果的に活用するうえで工夫されている発行者はどこですか。

(研究員)

各社とも、タブレット端末で読み取る二次元コードが用意されており、動画を用いて視覚的にわかりやすい工夫がされています。その中で大日本図書と啓林館は音声の解説動画がわかりやすいと委員の意見が多かったです。とりわけ、啓林館は、家庭学習でも活用できる「スマートレクチャー」と呼ばれる丁寧な解説動画が用意されています。

(会長)

ありがとうございました。他に質問はありますか。

(委員)

数学的な見方・考え方を働かせる工夫がされている点について教えてください。また、学ばなければいけないと感じるような生活との結びつきはありますか。

(研究員)

各社とも、子ども自身が学習の目的や課題に目を向けて取り組み、数学的な見方・考え方を働かせることのよさを感じながら学習できるような様々な工夫がされています。とりわけ啓林館では、子どもたちが自ら問いや見通しを立てる様子を例示するなど問題解決の過程で働かせる数学的な見方・考え方がわかりやすく、見方・考え方マーカを付けることで既習内容との統合や発展的な考察ができるよう工夫されています。

日常生活と算数とのつながりについては、具体的な場面が選択されており、主体的に学習に取り組めるように配慮されています。

(会長)

ありがとうございました。他に質問はありますか。

ないので、研究員のお二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、算数の協議に入ります。研究部の意向は「啓林館」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、算数は「啓林館」を選定します。

理科

(会長)

次にうつります。

事務局は、理科の研究員を中に入れてください。

<理科 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては東京書籍が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

学習指導要領の理科の具体的な改善事項で、国勢調査において児童生徒が理科が「役に立つ」「楽しい」などの回答が国際平均よりも低いことが課題に挙げられていますが、その改善に向かうための手立てはどういったところに反映されていますか。

(研究員)

各社とも、問題解決学習のモデルを示し、その中でも、導入では身近な出来事や現象から科学的な探求課題を設定する編集がされており、子どもの生活と学習内容が結び付くように配慮がされています。QRコードやコラム記事には生活にいかされたものやSDGsに関わる内容が多く紹介されています。

東京書籍では、単元間にある「研究のすすめ方」の紹介で、身近な出来事から課題を設定していくための思考がチャート形式で記載されていたり、確かめようで学習課題の作り方が問題となっていたり、生活の中から理科を結び付ける意識付けが強くなされています。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

愛知の教育ビジョン2025の趣旨を踏まえた教科書作りとなっていると思われる点を具体例を挙げて教えてください。

(研究員)

どの教科書会社もある程度、あいちの教育ビジョン2025の趣旨に合った編集がされています。特に、世界とのつながり、生き生きと活動するために必要な力を育むためにグローバル社会において、多様な人々と活動し協働する視点で見ると、児童の実験等の様子が外国人であったり、車いすに乗っていたりする写真やイラストが見られました。

中でも東京書籍につきましては、3~6年の全学年において、外国人児童の写真が使われており、愛知の教育ビジョンをより強く意識した編集になっているのではないかと考えます。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

ないので、研究員のお二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、理科の協議に入ります。研究部の意向は「東京書籍」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、理科は「東京書籍」を選定します。

理科まで終わりましたので、休憩にします。再開は予定時刻の通りでお願いします。

－ 休憩 －

生活

(会長)

次にうつります。

事務局は、生活の研究員を中に入れてください。

<生活 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては啓林館が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

啓林館の教科書で、児童が、生活科を学ぶ上で配慮・工夫されている点は何か。

(研究員)

2年間で学ぶ生活科です。この教科書を手にする、目にする低学年児童にとって、単元ごとに見通しをもって次の学習に向かえるよう工夫されている点です。

各単元、3段階構成となっており、導入段階の「わくわく」では、これから学ぶ学習の動機づけと学習活動に視点をもたせることができます。子どもたちも自分の思いや願いをもって学習に取り組めると思います。続いて活動段階の「いきいき」では、様々な活動や体験を通して感じ、考えることができます。最後に振り返り段階の「ぐんぐん」では、これまでの活動を伝え合ったり、振り返ったりするまとめの段階となります。これは、児童の主体的で・対話的で深い学びの実現ができるよう構成されています。

教科書の紙面上には、学習を進める上で、児童が思考を働かせ、気付きの質が高められるように「見つける・比べる・たとえる・ためす・みとおす・くふうする」6つのキーワード力が示されています。このキーワードをもとに学習を進めることができます。これは国語科や算数科といった専門的な教科の免許がない生活科を指導する我々教員にとってもこの指標が、児童の見取りや指導、評価をする際のヒントとなっています。

他にも、児童の幼児期の体験・学びが小学校教育につながるスタートカリキュラム、3年生以上に学習がにつながるステップブックが配置され、子どもたちのこれまでの経験や学びが次の学年・未来に期待感がいただけるよう配慮されています。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

啓林館と他社との二次元コード（QRコード）の内容の違いは何ですか。

(研究員)

タブレット端末が、普及したことにより各社QRコードを教科書に載せ、児童がすぐにタブレット端末で読み取り、映像や動画を見ることができるようになりました。

中でも啓林館のQRコードは、日々の学習で活用できる「学びウェブ」と児童のもっと知りたいをサポートする「デジタルたんけんブック」が用意されています。

「学びウェブ」は、教科書の紙面だけでは説明しにくい、理解しにくいおもちゃの作り

方を動画で説明したり、生き物や野菜の育て方についての育て方のコツも成長過程に合わせてスライドショーで示されています。児童は、授業中そのページの掲載されているものを読み取ればすぐに活用できます。

「デジタルたんけんブック」は、児童のやってみたい、みてみたい、探しにいきたいという児童自らが主体的な学びに導く資料が動画や音声で収録されています。またテーマ別に検索ができるよう工夫もされています。2年間生活科で学んだことが、3年生以上で学ぶ理科や社会科、普段の生活にもつながる工夫が見られました。

これらのデジタル資料を通して自ら進んで新たな情報を収集することで、その情報について、まわりの友達と比べたり、対話したりすることができます。自分の新たな気づきを表現するための手助け・ツールとなります。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。
ないようですので、研究員のお二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、生活の協議に入ります。研究部の意向は「啓林館」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、生活は「啓林館」を選定します。

音 楽

(会長)

次にうつります。
事務局は、音楽の研究員を中に入れてください。

<音楽 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては教育出版が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

文部科学省の検討会議が、今後小学校での専科教員が「外国語」「理科」「算数」「体育」が優先的に配置されることを打ち出しました。クラス担任が音楽の授業を行うことが増えていくことが予想されます。その観点でどちらの教科書が適切と思われますか。

(研究員)

どちらの教科書も児童の発達段階に合わせて教材化され、指導要領に沿って作成されていますが、担任が音楽科の指導をすることを考えた場合、教育出版の教科書が適切と思われます。音楽科教育では、授業の導入において、音楽の感覚の想起をさせることが重要です。教育出版の「にっぽんのうた みんなのうた」では、ワイドな写真や資料が充実しています。他の教材でも学習する曲をより想起させる写真を大きく掲載し、児童にとって季節感や情景が想像しやすいものになっています。このように作られていますので、教科書を開いた児童がそれらを目にすることで音楽の感覚が想起されます。

さらに3つございます。1つめは、「音楽のもと」という、教材で中心に学ぶ要素が全年見開きの右上に示されていて、児童はもちろん、授業者にとっても教科書を目にするたびに直感的に理解できるようになっており、本時のめあての達成に向けて授業展開しやすくなっていることです。2つめは、「まなびナビ」という学び方を示す情報です。文字の量が適切であり、活動内容が分かりやすく、授業者の説明や補足の時間を活動に回すこ

とができます。3つめは、3年生から6年生の教科書に三つ折りの運指表がついていることです。リコーダーでつまずきやすいのは運指が分からなくて嫌になってしまうことが多いです。教科書のどの曲を演奏するときにも同時に運指表を開いてすぐに確認できることは、児童にとって素晴らしいことであり、担任にとっても全体指導に集中しやすくなります。以上より教育出版の教科書が適切であると思われまます。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

子どもたちが、より主体的に学習を進めることができる教科書は、どちらですか。また、「他教科横断的教材」とは具体的にどんなものか教えてください。

(研究員)

どちらも、学習指導要領の方向性にあげられている、「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を意識した題材、教材選択がなされていますが、特に、主体的・協働的で深い学びの視点に寄り添っているのは、教育出版だと思います。なぜなら、見開きごとに学習のねらいと、学び方を示唆する「まなびナビ」が示されているとともに、題材ごとの学習の見通しも示され、児童が見通しをもって主体的に学んだり、学習を深めたりできるように配慮されているからです。また、「学び合い」についての示唆が随所に示され、協働的な学びを引き出すようにも配慮されています。

また、教科横断的教材とは、例えば英語の歌が載っている学年がありますが、外国語活動でも取り上げたり、「荒城の月」では国語の教材で取り扱ったりしています。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

今まで教育芸術社であったものを今回教育出版に採択替えの提案となっているわけですが、中学校では現在教育出版が採用されています。今まで小学校と中学校で違う会社の教科書を使用していることで何か指導しにくかったというような具体的な事例はあったでしょうか。

(研究員)

特に中学校の場合、合唱コンクールなどで楽曲を扱う事例が多いですが、小学校との関連を確認しておく必要があったという話は聞いております。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

教科書が変わるということは、今まで学習してきたことと今度学習することが学年でずれることになるので大丈夫でしょうか。またカリキュラムの接続はうまくいくのかなど研究員の中で話し合われたのでしょうか。

(研究員)

その点につきましても、研究員の中で十分話し合いをさせていただきました。今回変更することに関して躊躇することもありましたが、教科書の変更箇所を精査させていただいた結果、海部地区の子どもたちには教育出版の教科書の方がふさわしいという考えに至りました。確かにカリキュラムの編成など大変な部分もありますが、ここで変更するべきと考え提案させていただきました。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

小学1年生から6年生で、音楽を通して何を学ばせるのか。

(研究員)

小学校の音楽で大切なことは、基礎を養っていく中で音楽を生活の中に取り入れていくことです。身近な存在として音楽を歌ったり、聞いたりする活動を通して生活を豊かにしていくことです。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。
ないようですので、研究員のお二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、音楽の協議に入ります。研究部の意向は「教育出版」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、音楽は「教育出版」を選定します。

図画工作

(会長)

次にうつります。
事務局は、図画工作の研究員を中に入れてください。

<図画工作 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては日本文教出版が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

教科書に記載してあるQRコードを使ったICT機器の活用について教えてください。

(研究員)

どちらの出版社も、タブレット端末を活用して発想を広げたり、鑑賞を深めたりできるような資料やツールが用意されています。

特に日本文教出版は、各題材のページにQRコードが掲載されており、手軽に参考作品を見たり道具の使い方を確認したりすることができます。それぞれのタブレットで閲覧できるので、児童が見たいときに利用することができ、主体的に学習に取り組めるようになっています。

また、題材に合わせて作られた専用アプリもあります。手軽に使うことができ、児童の興味・関心を引き出し、楽しみながら試行錯誤して制作できるようになっています。資料やコンテンツが豊富なので、ICT機器を十分に活用することができると思います。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。
ないようですので、研究員のお二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、図画工作の協議に入ります。研究部の意向は「日本文教出版」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、図画工作は「日本文教出版」を選定します。

家庭

(会長)

次にうつります。

事務局は、家庭の研究者を中に入れてください。

<家庭 研究者入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究者)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては東京書籍が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

自らを高め、持続可能な社会をつくる担い手としての児童の育成について、教科書での工夫を教えてください。

(研究者)

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実がはかれるよう、ステップごとの学習に合わせた多様なQRコンテンツが充実しています。ステップ1では、デジタル思考ツールであるトライシートが用意され、付箋を動かしながら思考ツールを使用することができるようになっています。ステップ2では、基礎基本をしっかりとおさえることのできる動画コンテンツが多数用意されており、各自の学びに応じて動画を視聴することができます。教科書に掲載しているすべての調理実習・製作実習の動画があり、学校で実習前や実習中に確認するだけでなく、家庭での実践でも役立てることができます。ステップ3では、学びを深めるためのワークシートが用意されており、タブレットで撮影した写真を簡単に貼り付けることができ、学びを記録したり、工夫を共有したりし、児童にもっとやってみたいという気持ちを育むことができるよう配慮されています。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

学習指導要領では、家庭生活へのつながりを一層強く求めており、家庭実践を今後も進めていかなければいけないが、どのように実践と結び付けようとしているのか。実践の扱い方について説明してください。

(研究者)

全ての大題材を3ステップで展開し、「1 見つめよう」で自分自身の生活を見つめることを出発点とし、「2 計画しよう・実践しよう」で分かりできるようになり、「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」で身に付けた知識・技能を自らの生活に生かし、深めていくという学習過程となっています。各ステップでは、児童の主体的な活動を促す資料や学習内容を生活に結び付ける方法例を具体的に示しています。特に、ステップ3や「活動 深めよう」では、学習内容を生活に結び付け、学習の中で、他者との交流を図り、日常生活の問題を見出し、解決できるようにしています。授業内で行う深い学びを引き出す活動を提示するだけでなく、夏休み前に「夏休みわくわくチャレンジ」、冬休み前に「年末大そうじ大作戦」などと設定し、児童が自身の生活の中から課題を見つけ、家庭学習へとつなげていけるようにしています。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

ないようですので、研究者は退席してください。

<研究員退室>

それでは、家庭科の協議に入ります。研究部の意向は「東京書籍」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、家庭科は「東京書籍」を選定します。

保 健

(会長)

次にうつります。

事務局は、保健の研究員を中に入れてください。

<保健 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては大日本図書が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

学習指導要領の趣旨を踏まえた内容やそのための工夫について研究会が推薦する出版社の優れた点を教えてください。

(研究員)

「大日本図書」では、単元の始めの「学習ゲーム」でアクティブな活動を通して児童が学習の課題に気づき、自然と学習に興味・関心をもって取り組めるように工夫されていました。また、動画やシミュレーション、アニメーション、リンクなどが豊富に用意されているので児童の興味・関心が高まり、主体的に学ぶことができると感じました。

それぞれの単元にある「もっと知りたい!」や、すべてのページの下欄にある「ミニちしき」などには、児童にとって興味深く分かりやすい読み物や資料が豊富に用意されていました。発達段階に応じた最新の資料が精選されており、補充的・発展的な資料として学習内容に関連した学びを広げ、さらに深められるようになっていました。

家庭科や理科などの他教科との関連、学年間の系統、中学校の学習とのつながりが、マークやイラストで分かりやすく示されていて、段階的・発展的に学習が進められると感じました。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

ないようですので、研究員の二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、保健の協議に入ります。研究部の意向は「大日本図書」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、保健は「大日本図書」を選定します。

外国語

(会長)

次にうつります。

事務局は、外国語の研究員を中に入れてください。

<外国語 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては東京書籍が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

英語を学習するために、児童にとって活用しやすい工夫としては、どのような点が挙げられますか。

(研究員)

各発行者とともに、QRコードによる映像資料、音声資料は豊富に準備されています。授業内で児童が自ら視聴して確認したり、家庭学習でも練習に使用したりすることができるなど、自主的に学習を進めるには十分な量、質であると考えます

特に、デジタル教科書についてはすでに実証事業が行われていますが、令和6年度から小学5年生～中学3年生に本格的にデジタル教科書を導入されるという方針があると聞いています。児童の理解や深度に合わせて、自ら学習内容を決めたり、学習したい内容に簡単にアクセスできたりすることが必要となります。

東京書籍の「学習者用デジタル教科書」は、紙の教科書と同一の画面であることから使用感が書籍と同様の感覚となります。また、拡大機能、書き込み機能、保存機能があり、学習の反復や積み重ねが可能となります。また、ワークシートがデジタルで用意されていることから、書き込んだワークシートを保存することで、児童が学んだことを見える形で蓄積することができます。

絵辞典も、各発行者に用意されています。持ち歩いて、とっさの場合に参考にできるようにするもので、別冊になっているものが多くあります。中でも東京書籍の「My Picture Dictionary」は、2学年を通じて1冊にまとまっています。どの学年の何ページに関連した語彙なのかが示してあるなど、すぐに関連した学習内容にたどり着くことができるつくりになっています。また、この絵辞典も、デジタルで用意されているため、家庭においても練習や調べ学習に使用できるなど、活用度が高まると考えられます。

東京書籍の教科書はA4判となっていますが、特殊な軽量の紙が使用されているため、持ったとき軽く感じます。また、書き込み欄が多く、ワークシートを兼ねた作りになっていることから、いつでも手元において学習を進めることができるように作られていると考えます。

(会長)

ありがとうございました。他に質問はありますか。

(委員)

学習指導要領の主旨の一つとして「言語活動の充実」が謳われています。

英語の「話す力」「聞く力」を伸ばすために、どのような教科書の作りや工夫がされていますか。

(研究員)

学習指導要領で示された3つの力、すなわち知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度、これらはすべて、言語活動を通して育むことが重要であると指摘されています。その視点では、各発行者とともに、子どもたちが関わり合いながら英語でやり取りをしたり、英語で表現したくなるような材料が示されたりして、言語活動の充実が図られるように意識して編集されています。

中でも東京書籍では、各単元の目標への到達度が確認できる Your Goal という、既習事

項をフルに活用して行われる言語活動の場が設定されています。最初は自分のことや身近なことを伝え合う活動から取り組みます。次に地域の名物を紹介し合うなど、話題を展開していくことで日本、さらに世界へと段階的に視野を広げていきます。仲間と「英語を使う」活動を通して、「互いをより深く知る」「世界をよく知る」という相互理解や国際理解へとつながる活動となっています。

このようにして、「知る」ことの喜びから、相手の立場になって思考したり表現したりし、さらにもっと知りたい、学びたいという意欲を引き出す構造になっていると言えます。また、デジタル教科書の機能として、自分で新たに知った単語を追加したり、ワークシートに書き込んで保存できたりするなど、学習内容を振り返りながら定着を図ることができるという点でも、自らの学びを工夫・調整する力を育むことができると考えます。

特に、東京書籍では実践的な力を育めるよう教科書がワークシートに近い形になっています。学習指導要領にある思考・判断・表現を子どもたちがつづることができるようになっています。子どもたち同士が英語を楽しんで、英語を使うことに価値を感じながら活動できるような設定がされている教科書だと思いました。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

学校で教えている英語がネイティブな発音でないように聞いたことがあります。英語を使えるようにすること、テストでいい点を取れるようにすること、学校での英語の授業で教えるべきことは何でしょうか。

(研究員)

小学校の学習指導要領では、異言語を使ってコミュニケーションをとろうとする姿勢を育てることをねらいの一つとしています。英語は様々な国の人々が共通語として使用している言語であり、教科書にも様々な国の子どもが登場しています。共通語としての英語を学ぶのであって、ネイティブの英語を学ぶわけではないように考えています。私たちは日本人として日本の英語を国際社会の中で堂々と使用できる子を育成することを目標としています。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。
ないようですので、研究員の二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、英語の協議に入ります。研究部の意向は「東京書籍」でしたが、よろしいでしょうか。

<「異議なし」の声>

それでは、英語は「東京書籍」を選定します。

特別の教科 道徳

(会長)

次にうつります。
事務局は、道徳の研究員の中に入れてください。

<道徳 研究員入室>

それでは、報告をお願いします。

(研究員)

(「調査研究報告書」に基づき報告)

以上のことから、研究部としては教育出版が適当であると考えました。

(会長)

ただ今の報告に対し、質問はありませんか。

(委員)

教科によるICTの活用が進んでいますが、道徳科の授業でのICT活用において、研究会が推薦する出版社ではどのような工夫がされていますか。

(研究員)

全教材の冒頭部分にQRコードがついており、授業の導入部分で活用できる紙芝居形式の動画や、資料動画を手軽に閲覧できたり、教材の主要部分を簡単に提示できたりする工夫がされています。

また、「まなびリンク」が充実しており、タブレット端末を使えば、授業のまとめやふりかえりを自宅等でも行うことができる、指導者にも学習者にも便利な環境が用意されています。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

道徳科における「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、研究会が推薦する出版社は、どのような工夫がされていますか。

(研究員)

授業で「対話的で深い学び」を実現するためには、子どもたちがお互いの考えを伝え合う時間が必要になります。推薦する出版社は、1教材あたりの文章量が精選され、ページ数や文字数が少ないことと、発問が2つに絞られていることで、1つの発問に対する意見交換の時間が確保しやすい構成となっています。それにより、児童は多様な考えを伝え合ったり、より深く考えたりする時間が得られる工夫がされています。

また、物語を途中まで掲載するなど終わり方を工夫することにより、多様な意見を引き出したり、議論をしたりして、体験的な学習や問題解決的な学習を取り入れることにより、対話的で深い学びにつながる授業展開ができたりするよう工夫されています。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

(委員)

1年生の教材にある「かぼちゃのつる」で、かぼちゃを悪者にすることに評判がよくないようですが、いかがでしょうか。

(研究員)

「かぼちゃのつる」を扱っている教科書はいくつもあって、割と定番の教材となっています。指導者によって道徳的価値を何に置くかによって指導方法・発問の仕方が変わってきます。かぼちゃを悪者にする形態で授業を進めるのであれば、指導者に問題があるように自分は個人的に考えます。この教材は、かぼちゃは野菜ですから生きていく上でつるを伸ばすことは必要なことですが、擬人化することによって周りの人の注意を聞かなかつたり、周りの人に迷惑をかけたりするとつるが切れてしまうことがある。子どもたちには話し合いを通して、そういうことを気づかせる教材だと思います。

(会長)

ありがとうございました。他にご質問はありますか。

ないようですので、研究員の二人は退席してください。

<研究員退室>

それでは、道徳の協議に入ります。研究部の意向は「教育出版」でしたが、よろしいで

しょうか。

＜「異議なし」の声＞

それでは、道徳は「教育出版」を選定します。

以上で、小学校13種が終了しました。慎重かつ公正な協議をいただき、ありがとうございました。

選定結果を確認します。協議会要項の6ページをお出してください。

- ・国語は、「光村」
- ・書写は、「光村」
- ・社会は、「日文」
- ・地図は、「帝国」
- ・算数は、「啓林館」
- ・理科は、「東書」
- ・生活は、「啓林館」
- ・音楽は、「教出」
- ・図画工作は、「日文」
- ・家庭は、「東書」
- ・保健は、「大日本」
- ・英語は、「東書」
- ・道徳は、「教出」

となりました。

それでは、進行を事務局にお返しします

5 閉会のことば

(事務局員)

平尾会長、お取り回し、ありがとうございました。

委員のみなさま、長時間にわたり、慎重かつ公正なご協議をいただき、ありがとうございました。

この後の予定についてご説明申し上げます。

教育長様のみ封筒をお配りします。

「教科書採択に係る今後の流れ及び留意点について」をご覧ください。

明日付けで、各市町村教育委員会へ選定結果を通知させていただきます。8月10日までに各市町村教育委員会での採択結果を、2枚目からの様式で、本協議会へご報告ください。様式は海部教育事務所と同じものを使用しております。宛先だけ本協議会会長あてに変えてありますので、ご注意ください。また、中学校の教科用図書については、前回の会で確認しましたように、令和5年度使用の教科用図書と同様のものを採択してください。お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしく願いいたします。

本日の資料全般については、机の上に置いてお帰りください。

これをもちまして、令和5年度 第2回 教科用図書採択海部地区協議会を終わります。本日は、誠にありがとうございました。